

共同利用・共同研究拠点

Joint Usage / Research Center

文部科学大臣認定制度 共同利用・共同研究拠点事業

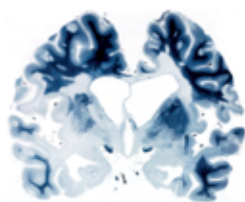
文部科学大臣が認定する「共同利用・共同研究拠点」制度は、個々の大学の枠を越えて、研究設備やデータ・資料等を全国の研究者が活用して共同で研究を行うためのシステムです。

新潟大学脳研究所では、平成22年4月より「脳神経病理標本資源活用の先端的共同研究拠点」として認定され、ヒト脳疾患の克服を目指し、本研究所が所有する膨大な脳神経疾患に関わる資源と、それに関わる専門的な知識・技術をわが国の脳科学研究者コミュニティに公開し、脳神経病理学とその関連分野において多様な共同研究を創出し、実施してきました。

共同研究領域の広がりを踏まえて、平成28年度から「脳神経病理資源活用の疾患病態共同研究拠点」に拠点の名称を変更し、更に令和4年度からは「病理リソースを活用した脳神経病態共同研究拠点」の名称で、共同利用・共同研究拠点として認定更新されています。本研究所に蓄積されてきた世界有数規模の脳神経病理標本資源と最先端の脳機能画像解析技術を基に、アルツハイマー病等の脳神経疾患に関する脳病理・病態解析、早期診断技術開発、進行抑制治療に向けた橋渡し等の課題を先進的に研究し、その成果を発信するわが国唯一の共同利用・共同研究拠点として、世界をリードします。

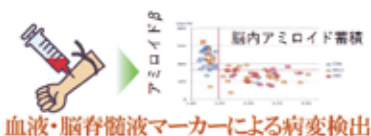
病理リソースを活用した脳神経病態共同研究拠点

①ヒト脳疾患標本資源： 世界最大規模 疾患脳ブレイン・バンク

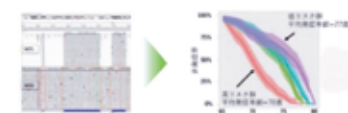


生鮮凍結脳組織 3万点
パラフィンブロック 52万個

②脳疾患ゲノム・生体試料 国内最大バイオマーカーリソース



血液・脳脊髄液マーカーによる病変検出

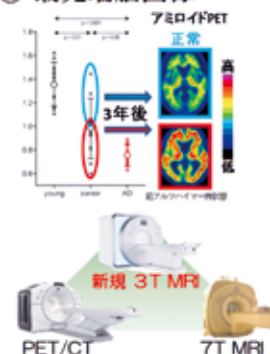


全ゲノム解析による発症予測

③疾患モデル動物解析 最先端開発技術



④最先端脳画像



平成22年度から共同利用・共同研究の公募を開始し、令和4年度はプロジェクト型共同研究40件、連携資源利用型共同研究18件、国際共同研究10件を採択しました。共同利用・共同研究課題申請の詳細は、脳研究所ホームページに掲載しています。
<https://www.bri.niigata-u.ac.jp/joint/index.html>

また、複数の共同研究者が参加する、合同セミナー等を実施している分野もあります。採択した共同利用・共同研究課題に関する講演を共同研究者に実施していただき、共同研究の成果や進捗状況を共有し、共同研究が円滑に進むようにサポートしています。

